募 集

あなたの『京都ならでは』

何ですか？

－ 国民文化祭・京都 2011「京都ならでは」事業　募集要項 －

あなたにとって「京都」はどんなところですか？

京都は、丹後王国や羽衣伝説がある日本海に面した北部地域、食のブランド「丹波」で知られる中部地域、宇治茶や源氏物語、恭仁京、学研都市という歴史の今昔未来を感じられる南部地域、そして、日本文化の粋（すい）ともいえる芸術・文化が集積した京都市域など、豊かな自然と歴史の中で育まれた多様な文化が息づく土地です。

個性あふれる多様な文化が、人と人とを結びつけ、味わい深い人生を演出し、新しい価値を生み出してきました。

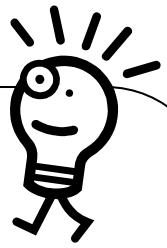
“ 京都の文化力 ” が醸し出す「京都ならでは」の魅力を、さらに発信しませんか？

国民文化祭・京都 2011

「京都ならでは」の事業をお待ちしています

京　都　府

１　募集内容、対象者



テーマ１
事業アイデアの募集

「京都だったらこんなことができる」「京都でしかできないこと」「京都でやってみたいこと」など、なんでも自由に書いてください。

例えば…京都にゆかりのあるもの・京都発祥のものなど再発見（路面電車、ライブハウス、地蔵盆、怪談話、和菓子、映画、フォークソングなど）、民話伝説サミットの開催、手作り筏レース、京都の寺社など文化財を舞台にした伝統芸能の展開、京都府内各地の伝統文化の体験、インターネットやＳＮＳによる生活文化の交流、ユニークな広報活動　など

■対象者：地域団体、ＮＰＯ、自治体、大学、企業、個人、居住地、国籍等、
特に制限ありません。
どなたでも応募できます。

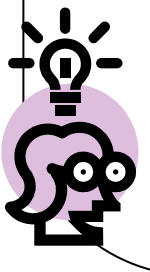
テーマ２
地域と連携・協働して取り組む企画事業の募集

事業実施にあたり、地域や提案者が主体的に関わるもので、下記の例を参考にしてください。

＜例＞
食、地域、生活、農山漁村、水、里山、伝統、演芸、観光、国際交流、民話伝説、環境、映画・映像、マンガ、パフォーマンス、ものづくり、産業、出版、町並み、商店街、学校など地域の資源を利用して、身近に感じることができる参加型、体験型、交流型の事業など

※ 第 26 回国民文化祭・京都 2011 基本構想を参考にしてください。
京都府ホームページを参照（http://www.pref.kyoto.jp/kokubunsai/）

（公共性、新規性、創造性、幅広い方々に知ってもらう仕掛けづくりなどを重視します。）



■対象者：地域と連携・協働して取り組む**京都府内の団体**

企業、大学、専門学校、高等学校、地域団体、ＮＰＯ、ボランティアサークル、カルチャースクール等法人格は問いません。

※ 特定の政治、思想、暴力団等に関わる団体は対象外です。

2　応募方法等

（１）　応募締切

平成２０年１０月１４日（火）（必着）

（２）　応募方法

・所定の応募申込書に必要事項を記入の上、１通を提出してください。
・応募申込書は、国民文化祭準備課に請求していただくか、次のホームページからでもダウンロードしてご利用できます。
　http://www.pref.kyoto.jp/kokubunsai/
・応募書類は返却いたしませんので、必ず控え（コピー）をお取りください。

（３）　応募申込書請求・提出・問い合わせ先

京都府文化環境部国民文化祭準備課
〒６０２－８５７０　京都市上京区下立売通新町西入
TEL　075-414-4225　　FAX　075-414-5137
E メール　kokubunsai@pref.kyoto.lg.jp

※　提案内容は、京都府のホームページ等を通じ広く広報します。

3　審査・選考・決定等

（１）　テーマ１

みなさんからの事業アイデアは、国民文化祭京都府実行委員会において、実行委員会主催事業等の参考にし、具体化を目指します。

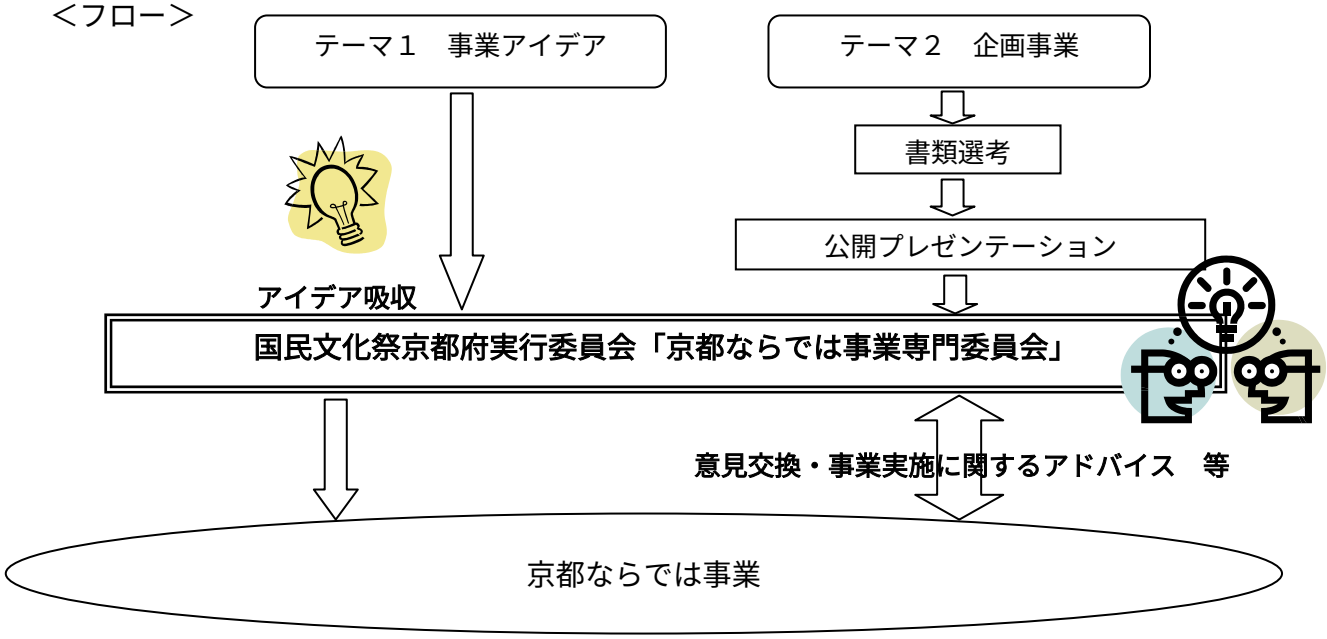
（２）　テーマ２

提出のあった企画事業については、書類選考（必要に応じてヒアリングを実施）を行い、平成２０年１０月以降開催予定の公開プレゼンテーションにおいて提案発表していただきます。

公開プレゼンテーションの日時については、発表される方に別途お知らせします。

その後、事業実施主体となる提案者とともに事業の具体化を進めていきます。

＜フロー＞



４　その他

○　京都府内に住んでいないのですが、提案はできるのですか？

→　■テーマ１…京都府外の方でも、海外の方でも、ＯＫです！
■テーマ２…京都府内の団体の方に限ります。

○　「第 26 回国民文化祭・京都 2011 基本構想」とはなんですか？

→　国民文化祭を京都で開催するにあたり、基本的な考え方や大会のテーマ、会期、事業構想などを盛り込んだものです。事業構想には下記のような内容が記されています。
詳しくは、ホームページをご覧ください。

＜事業構想の趣旨＞
① 暮らしに密着した祭や行事、生活文化を新たな視点から見つめ直す事業や地域の文化を復活するような事業
② 地域に眠る資源を、舞台芸術・美術工芸・映像などの制作・発表の場として活用する事業。また、新鮮でクリエイティブな芸術を身近に体感でき、地域における対話や活性化につながる事業
③ 文化をテーマに国際交流を図る事業
④ 子どもたちが芸術家と交流する体験型事業や、地域で大切に受け継がれている郷土芸能などが継承できる仕組みづくり
⑤ 環境先進地として「自然との共生」「資源の再利用」など環境をテーマとした文化事業　　など

○　テーマ２の企画事業の具体化については、どのような流れになるんですか？

→　公開プレゼンテーションしていただいた団体が主体となって事業化していくこととなりますが、京都ならでは事業専門委員会の意見も含め、京都府と協力しながら進めていきます。
事業実施時期については、提案内容にもよりますが、平成２３年の国民文化祭の会期中（平成２３年１０月２９日～１１月６日）に実施する事業や、前年、前々年に取り組むプレ事業なども対象とします。

○　補助金が出るのですか？

→　補助金を交付する事業ではありません。

第２６回国民文化祭・京都２０１１

大会テーマ　　「こころを整える～文化発心（ほっしん）」
会　　期　　平成２３年１０月２９日（土）～１１月６日（日）　９日間
内　　容
■総合フェスティバル　　オープニングフェスティバルやグランドフィナーレなど
■分野別フェスティバル　　分野ごとに全国からの参加者による公演・展示等
（民俗芸能、民謡、オーケストラ、合唱、吹奏楽、演劇、文芸、美術、生活文化等）
■府・市町村独自事業　　京都の特色を生かした文化的催し
（京都ならではの取組や地域の歴史、風土を生かした郷土色豊かな催し等）

詳しくは　こちら
国民文化祭・京都２０１１　検索